

参加費補助の基準（2024年世界大会）

参加費補助

ITF 規約は、執行委員会が判断する特別な場合を除き、世界大会代議員の参加費を ITF が負担することはないと規定している。しかしながら、世界大会は ITF の最も重要な民主的機関であり、ITF の各地域、各産別の加盟人員を反映する適切な参加人数の確保が期待される。

世界大会は全加盟組織が参加できる唯一の機関会議である。しかしながら、世界大会に参加するための十分な予算がない加盟組合も多く、執行委員会は従来、大会予算の一部を財政的に余裕のない組合の参加費に充ててきた。

参加費補助基準

今回、執行委員会は参加費補助の基準を次の通り定めた。

- 当該組合は加盟費を滞納していない。これはつまり、(1)2024 年度までの加盟費を全額支払い済みであるか、(2)加盟問題検証グループ (MVG) から支払い計画の承認を受け、最初の分割払いを済ませ、その他の支払い要件を遵守していることを意味する。
- 当該組合は参加費の一部を支払うよう努力する。
- 費用補助がなければ、代議員を一人も派遣することができない組合を優先させる。
- 1 か国から複数の組合が費用補助を希望する場合は、それら複数の組合が参加資金を寄せ集め、複数の組合を代表する人物に権限を委任して (ITF 規約第 4 条 (7) 項)、その人物を代議員として派遣することをまず検討すべきである。
- 当該組合は各代表団における女性および青年の最低代議員数を定めた ITF 規約第 4 条(5) 項を順守する。
- 大会参加費補助予算の 20% を女性代議員の参加支援のために確保する。
- ITF の重要なキャンペーンおよびプロジェクトで主導的な役割を果たしている組合あるいは個人が優先されることがある。
- 費用補助がなければ参加できない青年、女性、ホスト地域の代議員の参加を促すために、例外が適用される場合がある。



参加費補助申請

費用補助申請を希望する加盟組合は**2024年4月19日**までにオンラインの所定の様式で申請しなければならない。

スポンサー申請

財政的に余裕のある加盟組合は、他の組合のスポンサーになったり、参加費補助資金を寄付したりすることができる。これを希望する加盟組合は、**2024年4月12日**までに書記長に meetings@itf.org.uk に連絡されたい。

